

# カガヤキ

暫定的補足表題「ウオラントス」  
ラテン語でボランティアの意

No.62(2022.4.15刊行)、広報委員会編集  
茨城県立図書館発行  
禁複写転載©広報委員会

## 令和3年度各グループ年次報告

各ボランティア名のあいうえお順。

### 外国語資料整理 G

河村日佐男

#### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

#### 2) 活動内容

外国語の単行本や他の刊行物について、書誌事項とごく簡単な要旨を日本でデータシートに記入した。

#### 3) 成果

コロナウイルス感染防止の国や県の対策により、開館期間が、一定でなかったことも要因となって、ボランティア活動が低調になった。

#### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

### 郷土資料整理 G

唐澤矩子 辻 雅子

#### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

#### 2) 活動内容

図書館所蔵の古文書の解読については、各自の持ち分を持ち帰り、自宅で解読作業を実施した。解読文は、何度かチェックの後、データベース化して、県立図書館 HP に公開した。冊子化したものは県立図書館と国会図書館へ納める定例の打ち合わせ会を実施した。

コロナ禍で活動が制限された事も一因と思われるが、今期は、3名の退会があり、5名で活動を続ける事となった。古文書の解読が出来る方々に、ぜひ、お力添えいただきたい。

#### 3) 成果

- ・『志の飛音』の冊子化と県立図書館 HP に公開した。
- ・解読済みの『地理書 常陸久慈郡』を最終チェックした。
- ・『水戸逗留日記』の持ち分を各自とも解読開始した。

#### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

## 広報 G

桜井 淳

### 1) 今年度目標

広報 G の作業内容は、国内外どこでも、PC と Wi-Fi さえあれば、E-mail や WORD などの利用により、原稿依頼や編集作業ができるため、昨年度と今年度のよ  
うなコロナ禍の社会状況においても、活動制限が少なく、通常どおりの作業が継続できるため、通信紙の編集は、最低 2 回、できれば 4 回にしたい。

### 2) 活動内容

的確な取材や分析やまとめが可能なように、これまでどおり、県立図書館の広報 G 担当の職員とは、年間約 100 件の E-mail のやり取りを実施した。

### 3) 成果

今年度に発行した通信紙は、No.55, 56, 57, 58, 59, 60, 61 である。高い目標以上の成果を上げることができた。

個々の編集内容は以下のとおりである。

- ・ No.55 「ボランティア論再考ー自己修行の世界ー」 「編集後記」
- ・ No.56 「令和 2 年度活動報告」 「県立図書館ボランティア業務に携わって」 「編集後記」
- ・ No.57 「視聴覚資料ボランティア」 「編集後記」
- ・ No.58 「県立図書館リニューアルオープン」 「編集後記」
- ・ No.59 「理想的ボランティア活動」 「日本の教会ボランティアについて」 「編集後記」

・ No.60 「通信使の三本柱」 「県立図書館ボランティア事務局報告」 「説教」と「法話」の共通点と相違点」 「編集後記」

・ No.61 「通信紙「カガヤキ」の感想と期待」 「常陸国西念寺での親鸞 20 年総論」 「編集後記」

### 4) 来年度目標

今年度同様の成果を上げるため、同様の手法と目標を掲げ、できるだけ多くの通信紙の編集に努めたい。

## 三の丸書庫 G

黒澤英宣

### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

### 2) 活動内容

- ・ 団体貸出の返却本の書架への配架処理、書架整理保管作業。
- ・ 一定年数を経過した古本のリサイクル図書としての利用のため、リサイクル印の押作業。
- ・ 三冊の背表紙のラベルの刷新作業(登録間違いや古くなって判別が難しいラベルの張替え)。
- ・ 図書の修理作業(破れ・汚れ・ほつれなどの修復)。

### 3) 成果

- ・ 月 2 回の活動を実施(活動時間 AM9:30 から 12:00 まで)。
- ・ 登録者 11 名(うち 5-7 名が都合に合わせて活動に参加することが多い)。
- ・ 活動についての協力体制が迅速で、作業

効率が非常に良い。

・今年度は新規ボランティアが1名増えて11になった。

・リサイクル本のリサイクル印を押印する作業は、年間1万冊程度処理でき、リサイクル本コーナーは利用者からも好評な企画である。

#### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

### 視聴覚資料 G

県立図書館普及課 石井敬之

#### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

#### 2) 活動内容

視聴覚資料(CD,DVD)の傷や、再生不良を研磨することにより、通常再生できるように復元した。利用者から不具合が出ていると報告のあった視聴覚資料について、不具合の確認を行い、どの部分がどの程度(時間)不具合が出ているか確認した。

#### 3) 令和3年度

当初、ボランティア登録者がおらず、募集をかけたところ、3名の新規ボランティア登録があり、不具合資料があった際に、視聴覚資料を修復した。視聴覚資料の不具合は、定期的に発生するものではなく、不定期で発見されるため、不具合資料が少ない場合、ボランティア活動も減少する傾向がある。

#### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

### 児童サービス G

大内正夫

#### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

#### 2) 活動内容

班を編成して行っている定例の「おはなし会」は、新型コロナ感染拡大とカフェ工事休館のため、12月と1月のみ実施した。5月に予定されていた「子ども読書フェスティバル」の「スペシャルおはなし会」は、カフェ工事休館のため、中止にした。年2回予定されていた研修会は中止した。11月に実施した「いばらき読書フェスティバル」では、ボランティア参加の自粛方針により、「スペシャルおはなし会」の開催を中止した。ギャラリーにおけるボランティア紹介展示のみ実施、児童サービスボランティア総会(3月6日)を実施した。

#### 3) 成果

昨年度に引き続き、コロナウイルスの影響が大きく、わずかな期間のみの活動となった。活動できた日は、ボランティアの元気な声が響き、子供たちの熱心に聞く姿が見られた。いっぽう、感染を恐れて活動に消極的なボランティアやボランティアの高齢化のために、体調を崩して欠席する日もあり、人手不足となる班もあった。来年度以降もボランティア募集を継続し、新たな

人材の参加に期待したい。

「三密」を避けるため、「おはなししつ(お話室)」を使用せず、子どもとしょしつ(子供図書室)の一部スペースで活動した班と、そのまま「おはなししつ」で読み聞かせを行った班とあり、統一しなかった。県立図書館からは、三密を避ける形での開催の要望があった。

茨城県に「まん延防止等重点措置」が適用された期間は、活動を休止した班が多かったが、一部の班は活動を継続した。図書館からの活動自粛要請も出ていなかった。

#### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

### 資料配架 G

吉田 善克

#### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

#### 2) 活動内容

各自による、感染状況、開館状況に応じた活動となった。

#### 3) 成果

コロナウイルスの感染拡大により、ボランティアの自粛が多く、活動は、実質休止状態であった。再開は、各自の判断を尊重し、県立図書館の開館に合わせて活動する方針である。

#### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

### 対面朗読サービス G

人見佳子

#### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

#### 2) 活動内容

対面朗読ボランティアの定例会と訪問朗読(実施無し)。

#### 3) 成果

- ・担当ボランティア延べ 10 名。
- ・利用者の来館に合わせ、希望図書をボランティア 2 名で朗読した。
- ・利用者 2 名、計 10 回。
- ・カフェ整備工事とコロナウイルス感染拡大により、実施回数が減少した。
- ・コロナウイルス感染拡大を受けて、活動の有無の検討や新年度の役員選出など、令和 4 年度に向けての協議を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大を受けて訪問対面を中止した。

・盲老人ホームナザレ園は、高齢者福祉施設のため、感染による重症化リスクが高いため訪問できなかった。

#### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

## 図書修理 G

是枝 忍

### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

### 2) 活動内容

- ・図書修理作業(破れ・汚れ・ほつれの修復、ブックカバーの装備など)。
- ・図書修復の講習(新規ボランティアの2名に対して、基本からの講習を実施した)。
- ・図書館職員に対し、図書修理方法の説明をした。

### 3) 成果

- ・活動時間は、これまで、13:00-15:00であったが、10:00-15:00に変更した。
- ・新規ボランティアが2名加わり、基本練習を実施した。
- ・図書館職員に対し、図書修理方法の説明を実施した。
- ・常時、3名以上、毎週金曜日の10:00-15:00の活動。

### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

### 2) 活動内容

- ・録音図書製作(音声デイジー)録音、校正、編集。
- ・定例会・勉強会  
県立図書館、牛久市立中央図書館(県南登録者)。
- ・全国音訳ボランティア協議会総会に参加  
6月8日火曜日、オンライン(zoom)会議で実施。

### 3) 成果

- ・録音図書製作(音声デイジー)完成図書「もののけ」朝井まかて著他、「カレーライス」重松清著
- ・定例会  
県立図書館4回(7月27日、10月12日、11月9日、12月14日)、牛久市立中央図書館10回(4月6日、5月6日、5月17日、7月6日、7月20日、10月5日、10月19日、11月1日、12月7日、12月21日)。
- ・録音・校正・編集は各担当者が図書館録音室や自宅で作業実施した。

### 4) 来年度目標

コロナ禍において、社会状況を見定め、積極的に対応したい。

## 録音図書製作 G

立川みつよ

### 1) 今年度目標

コロナ禍においても、できるだけ積極的な活動を実施したい。

特別企画

**山頂の神仏との対話 総論**

宗教研究者(曹洞宗雲水)

桜井 淳

はじめに

私は、2010年12月24日の出家成就式以降、曹洞宗雲水として、修行のために、「世界千寺院巡礼」(著書・写真集『世界千寺院巡礼』を整理中)を実施中である。

「世界千寺院巡礼」という命名は、五木寛之(作家)の「百寺巡礼」を基に、国内の仏教のみならず、世界のあらゆる宗教の寺院まで含め、宗教文化を深く考察することを目的としている。

五木は、小説『青春の門』のベストセラーの最中の数篇目で、3年間、休筆し、龍谷大学文学部仏教学科の聴講生となり、宗教史を修学した。龍谷大学は親鸞の浄土真宗である。五木は、仏教のみならず、キリスト教など、宗教について語れる数少ない作家で、人格者であり、哲学者を超え、思想家(哲学+宗教=思想)に達している。

本当の神の名

私は、知り合いの編集者や論説委員に対し、「『旧約聖書』と『新約聖書』の神の名は」との質問を發した。意外なことに、誰も答えられなかった。世の中で広く利用されている日本語の『聖書』(最初の約四分の三は、『旧約聖書』、残りの約四分の一は、『新約聖書』)には、神の名は、一

箇所もなく、ただ、「神」「主」「父」としか記されていない。しかし、ヘブライ語で記された『旧約聖書』の原本には、神の名が、6859箇所も記されている。『旧約聖書』と『新約聖書』の神の名はヤハウエ(YHWH)である。私は、東大大学院人文社会科学系研究科で、「中世ユダヤ思想の研究」の過程において、まず、日本語、英語、独語、フランス語の記載内容で議論し、最後に、ヘブライ語に遡り、各語による聖書の表現や意味の相違について、討論に加わったことがある。『旧約聖書』の内容の本当の意味はヘブライ語に遡らなければ分からないとされている。

キリスト教では、神ヤハウエ、神の子イエス、聖霊を合わせ、「三位一体」とし、それを改めて主(神)と定義している。その考え方は、他の宗教にない、キリスト教の特徴である。

『新約聖書』の最初に出てくる「マタイの福音書」には、神の子イエスに対し、群衆の中の高齢の女性が、「主よ、助けてください」(『聖書』(共同訳聖書実行委員会、日本聖書協会(1988)、以下同様)と、湖で嵐に遭遇した弟子たちが、「主よ、助けてください。おほれそうです」と、神の子イエスを主と呼び、そして、イエスは、十字架に架けられた状態で、「父(神ヤハウエ)よ、彼ら(沿道でイエスに罵声を浴びせた人たち)を許してください。彼らは、自身の罪さえ知らないのです」と祈る。

世界の信者の多い宗教と神は、キリスト教(神「三位一体」の主)、イスラーム(神アッラー)、ヒンドゥ教(神シヴァ、他)、仏教(私は創宗者の釈迦としたい)である。神社神道などの日本神道の神は世の中を照らす

光の神としての「天照大神」である。

#### 山頂(一般論として登山道)の神仏

山は神の世界である。

アルゼンチンとチリの国境にある南米最高峰のアコンカグア(Aconcagua, 6961m)の山頂には、直径約10cmの丸太を縦横に括りつけた高さ約1mの粗末な移動式十字架が設置されている。イタリアとスイスの国境にあるマッターホルン(Matterhorn, 4478m)の山頂には、幅約10cmの板を、縦横に、金具で固定した高さ約1mの立派な固定式十字架が設置されている。

欧米の山では、神の存在の証として、キリスト教の代名詞的十字架が、設置されているが、まれだが、マリア像の例もある。

日本の山は修行僧が拓いた霊山である。日本の山の山頂(一般論として登山道)には鳥居や神社や仏像が設置されている。日本的宗教の特徴は、仏教と神社神道の融合である(日本では、宗教信者戸数の98%は、仏壇の上方向の棚には、神社神道の象徴的神棚が設けてあり、その中には、天照大神のお札が収めてある)。登山道の仏像の種類は、さまざまであるが、強い印象として残っているのは、素性不明の朽ち果てた仏像と地蔵菩薩である。

男体山(2486m)は、日本でも代表的な霊山であり、合目の表示は、板や石柱の標識ではなく、すべて、鳥居(俗なる世界と聖なる世界を分ける「結界」の意)である。私が、これまでに、経験しているのは、男体山のみである。

#### 神仏との対話

私は、これまで、世界各国の山の神仏と対話を続けてきた(著書『世界百峰巡礼登山一巡礼登山家の視点一』、論創社(2018)、amazonで発売中)。語りかければ、語り返してくれる。特別、深い知識と敬意で語りかければ、それに値する深さで語り返してくれる。神仏は、登山者のみならず、すべての人間を守ってくれる。

これまで、神を最も強く感じたのは、蓼科山(2531m)の雪山の吹雪の中であった。頂上から約100m離れた大きな平坦地に、決して、大きくもなく、立派でもない神社があり、神的雰囲気が高く、逃げ出したいほどの怖さを感じた。静寂の中に、強いメッセージを感じた。

それとは逆に、そこに住む人たちの高い徳と温かさを感じ、それがそのまま仏の雰囲気として表れていたのは、静岡県下田市の寝姿山(200m)へ通じる蓮台寺近くの麓の登山道沿いにいくつも並んでいた地蔵菩薩(釈迦の入滅後、弥勒菩薩が成仏する無仏時代の救済の菩薩)であった。

#### 結びに代えて

私は、初詣の参拝者が、その神社が神として何を祀っているのか、認識して上で参拝しているのか、疑問に思っている。明治神宮の神は、明治天皇と皇后、水戸市の偕楽園の横の常盤神社の神は、徳川光圀と徳川斉昭、水戸市の桜山公園の内部の護国寺の神は、茨城県内戦没者約60万人の御霊、世の中の稲荷神社の神は、キツネである。世の中は、イワシの頭さえ、神として、祀っている。宗教の世界は、心の世界であり、複雑で、無限の深さがある。

## 編集後記

世の中には、おそらく、人間の数ほど、考え方や価値観が存在するため、何がベストかを決める必要は、なく、自己責任の範囲内で、自由に実施すれば良いのです。

編集者は、つらい立場であって、いかなる時も、テーマや表現のオリジナリティの追究のため、あえて、社会にさらす必要のない心の中の世界まで、恥を覚悟で、さらさなければなりません。

私は、還暦寸前の58歳になった時(東大大学院総合文化研究科で「哲学」「社会学」の研究開始)、頭の中を整理するため、読みたい書籍、すなわち、

- ・ 哲学(一般教養課程で使用する教科書)、
  - ・ 経済学(一般教養課程で使用する教科書)、
  - ・ 古事記、
  - ・ 日本書紀、
  - ・ 宗教(全体)、
  - ・ 仏教、
  - ・ キリスト教、
  - ・ 源氏物語(仏教倫理)、
  - ・ 歌舞伎、
  - ・ 能、
  - ・ 狂言、
  - ・ 六法全書(社会秩序)、
  - ・ 聖書(倫理)、
  - ・ 資本論(すべて読むのに半年かかる、資本主義社会の社会制度と経済について体系化)、
  - ・ 国際政治
- などを熟読吟味しました。そして、人生には、最低限、

- ・ 六法全書、
- ・ 聖書、
- ・ 資本論、

の知識が欠かせないことを悟りました。

そして、熟読吟味の結果とは、まったく関係なく、63歳の時(東大大学院人文社会系研究家で「中世ユダヤ思想」「比較宗教学」「宗教社会学」の研究開始)、特別な心の変化もなかったにもかかわらず、新たな研究のため、フィールドワークとして、自宅近くの曹洞宗の禅寺に出家し、その禅寺と曹洞宗大本山永平寺(福井県永平寺町)で、基本的な修行を実施しました。永平寺では、半年もすれば、目つきと容姿と人格が変わるほど、死ぬほどきつい修行の日々でした。

「資本論」の熟読吟味をしてみて分かったことは、世の中の「資本論」の解説の大部分は、読みもしないで、伝聞を基に、完全に、的外れな解説をしていることです。

「資本論」の体系は、人間を中心軸とし、19世紀の英国を中心とした世界の資本主義国の社会と経済のメカニズムの法則化の学術的まとめであり、他の学術著と異なる点は、人間の生活を優先的に位置づけている点です。

私は、当時、社会学の博士論文を執筆する前に、「資本論」をくり返して熟読吟味していたため、研究対象の時間的地理的スケールの大きさ、それに、学術文献と補足項目の多さに圧倒され、自身の研究内容の貧弱さに、一般的に言えば、世の中の社会学博士論文の内容の貧弱さに、打ちのめされました。世の中に対し、最高に誇れる良い物をまとめねばなりません。

桜井 淳